

大 使 館 情 報

2022 年 10 月

【目次】

1. ブラジル・マクロ経済情勢

- (1) 経済情勢
- (2) 経済政策等
- (3) 金融政策
- (4) 為替市場
- (5) 株式市場

2. ブラジル政治情勢（2022 年 9 月の出来事）

【内政】

- (1) 独立記念日の市民・軍事パレード
- (2) ウェベル連邦最高裁判所（STF）新長官の就任式
- (3) ボルソナール政権の支持率
- (4) 2022 年大統領選関連（第一回目投票の結果）

【外交】

- (1) ボルソナール大統領の英国訪問
- (2) ボルソナール大統領の国連総会出席
- (3) フランサ外相の国連総会出席

3. トピックス

- (1) 林大使のパラナ州北部公式訪問（9 月 8～10 日）
- (2) 外務省研修生 OBOG 会ブラジリア総会の実施（9 月 16 日）
- (3) ジャングル祭りの開催（9 月 23～25 日）
- (4) カルロス・マグノ・カンポス・ダ・ホーシャ元 EMBRAPA 総裁への
叙勲伝達式（9 月 30 日）

4. 大使館からのお知らせ

- (1) 10 月 11 日（火）以降の日本入国時の水際措置の見直し
- (2) 在伯公館 SNS リンク一覧
- (3) 外務省海外安全ホームページ
- (4) ブラジル渡航情報

1. ブラジル・マクロ経済情勢

(1) 経済情勢（9月発表の経済指標）

- (ア) 7月の鉱工業生産指数は前月比+0.6%、前年同月比▲0.5%となった。
- (イ) 7月の小売売上高は前月比▲0.8%、前年同月比▲5.2%となった。
- (ウ) 8月の拡大消費者物価指数（IPCA）は前月比▲0.36%となり、前月（▲0.68%）から減少幅は縮小したものの2か月連続の減少となった。直近12か月累計は+8.73%となり、前月（同+10.07%）から上昇幅は1.34%ポイント縮小した。
- (エ) 失業率（6～8月）は8.9%となり、3か月前（3～5月）の移動平均9.8%から0.9%ポイント低下。また前年同期比（2021年6～8月）の13.1%から4.2%ポイント低下した。
- (オ) 伯中央銀行が週次で発表しているエコノミスト等への調査（Focus調査）について、9月30日時点で、GDP成長率予測については、2022年は+2.70%（前週から0.03%ポイント上昇）で、2023年は+0.53%（前週から0.03%ポイント上昇）となった。インフレ率については、2022年は5.74%（前週から0.14%ポイント下落）で、2023年は5.00%（前週から変わらず）となった。

(2) 経済政策等

9月8日、ボルソナーロ大統領はアウシリオブラジルの給付金額（月額）について、受給者が就労すれば200レアルを追加すると発言した。この場合、従来の主張通り2023年以降も600レアルの給付金額が継続されれば合計800レアルとなる。なお、ルーラ元大統領は600レアルに加え、6歳までの子供がいる場合には150レアルを追加給付することを主張している。

(3) 金融政策

9月20日及び21日に開催された伯中央銀行金融政策委員会（Copom）において、政策金利であるSelic金利を13.75%に据え置くことが決定された。伯中銀は2021年3月から前回2022年8月まで12会合連続で、政策金利の引上げを実施していた。次回会合は10月25日及び26日に開催予定。

(4) 為替市場（レートは伯中銀の公表値から算出）

- (ア) 9月の為替市場は5.12～5.41レアル/ドルで推移。
- (イ) 月の前半は5.12～5.22レアル/ドルで推移。米国の金融政策を巡る動向や世界経済の見通しの悪化の他、ブラジル国内での物価動向についての前向きな動向等を材料に、概ね横ばいで推移した。
- (ウ) 月の後半は5.17～5.41レアル/ドルで推移。米国の金融政策や欧州経済を巡る動向の他、伯大統領選を巡る不確実性等を材料に概ね下落傾向で推移した。

（５）株式市場

- （ア）9月の株式市場は107,664～114,070ポイントで推移。
- （イ）月の前半は109,764～113,407ポイントで推移。資源価格の動向や世界経済の動向等を材料に上下して推移した。
- （ウ）月の後半は107,664～114,070ポイントで推移。世界経済の見通しの悪化等を材料に概ね下落傾向で推移した。

2. ブラジル政治情勢（9月の出来事）

【内政】

（１）独立記念日の市民・軍事パレード

9月7日、ブラジルでは、独立200周年を記念して市民・軍事パレードが実施され、ボルソナロ大統領他、各国来賓（ポルトガル、ギニア・ビサウ、カボ・ベルデの大統領）が出席。また、同日午後にも、リオデジャネイロ市コパカバーナ地区において記念式典が実施され、ボルソナロ大統領が出席した。

（２）ウェベル連邦最高裁判所（STF）新長官の就任式

9月12日、連邦最高裁判所（STF）長官の就任式が実施され、ルイス・フックス判事の後任として、ローザ・ウェベル新長官が就任した。同長官は、STFの歴史上3人目の女性の長官であり、任期は2023年10月までを予定。

（３）ボルソナロ政権の支持率

9月29日、Datafolha社が公表した9月27日から29日にかけて、6800人を対象に実施した世論調査の結果によれば、ボルソナロ政権の支持率は、31%（8月18日発表の調査：30%）、不支持率は44%（8月調査：43%）となっている。

（４）2022年大統領選挙（第一回目投票の結果）

10月2日、伯大統領選第一回目投票が実施され、ルーラ元大統領（PT）が有効得票の48.43%、ボルソナロ大統領（PL）が43.20%の得票率。ルーラ元大統領の得票率は48.43%に達するも、過半数に届かず、次点のボルソナロ候補と10月30日に決選投票が行われることとなった。

【外交】

（１）ボルソナロ大統領の英国訪問

9月18日～19日、ボルソナロ大統領は、エリザベス女王陛下の葬儀に出席するために、英国を訪問。19日には、エリザベス女王陛下の棺を弔問し、チャールズ国王主催のレセプションに出席、また、19日午後にトラス首相主催のレセプションに参加した。

（２）ボルソナーロ大統領の国連総会出席

（ア）９月２１日、米国を訪問し、第７７回国連総会に参加したボルソナーロ大統領は、一般討論演説を行った。同演説において、大統領が扱った主なトピックは、新型コロナウイルス感染症によるパンデミック、経済、食料安全保障、持続可能な開発、国連、ウクライナ紛争、宗教の自由、女性のエンパワーメント等。

（イ）国連総会のマージンにおいて、ボルソナーロ大統領は、９月２０日、ギリエルモ・ラソ・エクアドル大統領及びアンジェイ・ドゥダ・ポーランド大統領と会談を行った。

（３） フランサ外相の国連総会出席

（ア）第７７回国連総会に参加したフランサ外相は、ニューヨークにて、９月２１日～２３日にかけてギニア・ビサウ、エルサルバドル、カンボジア、ロシア、アラブ首長国連邦、セルビア、バハマ、スリナム、トルコ、サウジアラビア、イラン、ガイアナ、ベラルーシ、バーレーン、インドネシア、アンドラの各外相との会談を実施。また、IBSA 外相会談、イベロアメリカ外相会談、BRICS 外相会談、安保理改革に関する G4 外相会合外相会談にも参加した。

（イ）９月２２日には、第７７回国連総会の際に、林外務大臣との間で日伯外相会談を実施。林大臣より、９月７日のブラジル独立 200 周年への祝意を伝達し、現下の厳しい国際情勢の中、基本的価値を共有する「戦略的グローバル・パートナー」であるブラジルと連携していきたい旨述べるとともに、200 万人を超える日系社会を介した特別な絆も大切にしたい旨述べ、フランサ大臣から賛意が示された。両外相は、来年共に安保理非常任理事国を務める日本とブラジルが、安保理改革を含む国連全体の機能強化に関し連携していくことを確認。また、両外相は、二国間協力及び、国際場裡における協力等について議論し、5G や脱炭素に向けた取組など様々な分野における協力のあり方について議論していくことで一致。また、両外相は、核・ミサイル問題や拉致問題を始めとする北朝鮮への対応を含む地域情勢についても引き続き連携していくことを確認した。

３． トピックス

（１）林大使のパラナ州北部公式訪問（９月８～１０日）

９月８～１０日の間、林駐ブラジル日本国大使はパラナ州北部（マリンガ市、ロランジア市、ロンドリーナ市）を公式訪問した。

８日午後はマリンガ市において、マリンガ日系団体長等と懇談した後、マリンガ日本庭園やサンフランシスコ・シャヴィエル文化社会センターを訪問した。さらに、マイア・マリンガ市長を表敬し、マリンガ市・加古川市の姉妹都市関係や経済分野、環境分野、教育分野等における今後の協力方途につき協議した。また、パラナ老人福祉

和順会を訪問し、同会による高齢者ケア施設の運営等について説明を受けた。



マリンガ日本庭園視察



サンフランシスコ・シャヴィエル文化社会センター訪問



マリンガ市長表敬



パラナ老人福祉和順会訪問

9日はマリンガ市において、マリンガ文化体育協会（ACEMA）の体育館、プール、ゲートボール場等の同協会施設を視察し、来訪を記念して、敷地内の日本庭園に桜を植樹した。さらに、ロランジア市のパラナ日本移民センターを訪問し、パラナ日本人移民慰霊碑に献花及び黙祷し、パラナ移民史料館を視察した。また、ロンドリーナ市において、ベリナッチ・ロンドリーナ市長を表敬し、ロンドリーナ市・西宮市の姉妹都市関係や日系社会連携、経済分野、教育分野等における今後の関係強化について意見交換した。

午後はロンドリーナ市において、パラナ日伯文化連合会（ALIANÇA）を訪問し、造成予定の日本庭園について説明を受けた後、来訪を記念し、同区画内に桜を植樹した。続いて、パラナ日本語教育センター及びロンドリーナ・モデル校で実施されている日本語教育について説明を受け意見交換し、授業の様子を視察した。さらに、インテグラーダ農協を訪問し、組織沿革や事業概要等に関する説明を受け、スマート農業の取り組み等について意見交換した。また、ロンドリーナ文化体育協会（ACEL）を訪問し、同協会の運営する EXPO JAPAO 等の説明を受け、ロンドリーナ市日系社会要人と意見交換した。最後に、パラナ日伯文化連合会（ALIANÇA）主催による、林大使歓迎会に参加し、マリンガ市及びロンドリーナ市含むパラナ州北部・西部周辺市の日系人団体長等と懇談した。



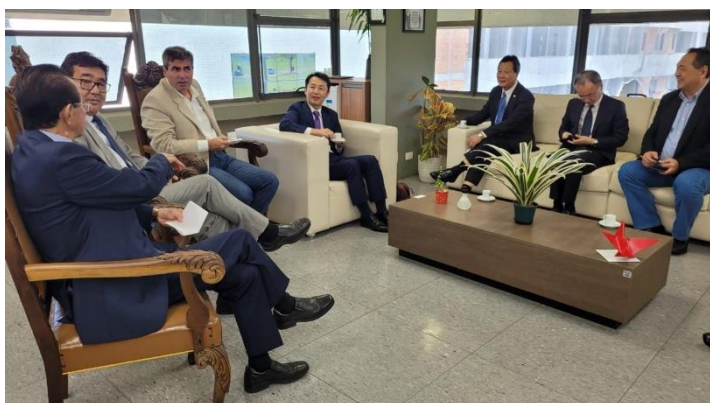
マリンガ文化体育協会（ACEMA）訪問



パラナ日本移民センター訪問



パラナ日本人移民慰霊碑への献花



ロンドリーナ市長表敬



パラナ日伯文化連合会 (ALIANÇA) 訪問



インテグラダ農協訪問



ロンドリーナ文化体育協会 (ACEL) 訪問



パラナ日伯文化連合会 (ALIANCA) 主催林大使歓迎会への参加

10日はロンドリーナ市において、フォーリャ・ジ・ロンドリーナ紙本社を視察した後、同紙によるインタビューに対応し、日本とブラジルの経済関係、文化・教育協力、人的交流等に関する質問に回答した（記事 URL）。

記事 URL (1)

<https://folhadelondrinadigital.pressreader.com/article/281500755093211>

記事 URL (2)

<https://www.folhadelondrina.com.br/geral/caso-de-homicidio-duplo-no-japao-segue-sem-solucao-3221303e.html>

（２）外務省研修生 OBOG 会ブラジリア総会の実施（9 月 16 日）

9 月 16 日、在ブラジル日本大使館はブラジリアにて外務省研修生 OBOG 会（※）と共催で「ブラジリア総会」を開催した。午前は市内ホテルにて、同会の活動報告及び外務省研修生としての活動のあり方につき議論が行われ、また冒頭、林大使が挨拶を述べた。



その後、一行は大使公邸にて林大使と交流した他、市内レストランにて、「外務省研修生」らの記念誌発行セレモニーを行った。セレモニーには林大使のほか、高野総括公使も出席し祝辞を寄せた。



※外務省研修生とは、日本外務省の招へいスキームで訪日した経験のあるブラジル人を指す。

（３）ジャングル祭りの開催（９月２３～２５日）

９月２３日～２５日の間、マナウス市にて西部アマゾン日伯協会主催の「ジャングル祭り」が盛大に開催された。同イベントは北伯地域最大の日本文化紹介イベントであり、当日は多くの市民で賑わった。在マナウス総領事館もブースを出展して日本人形等の展示や日本紹介ビデオの上映を行った。開催期間中は当地やサンパウロ、パラナのアーティストによる歌謡や和太鼓の公演の他、ミス日系コンテスト、コスプレ大会や書道、生け花、漫画、剣道などの各ワークショップが開催された。さらにマナウスフリーゾーン進出日本企業もブースを出展し、各商品の紹介を行った。



多くの市民で賑わう会場



開会式で祝辞を述べる荻野総領事

（４）カルロス・マグノ・カンポス・ダ・ホーシャ元 EMBRAPA 総裁への叙勲伝達式（９月３０日）

９月３０日、在ブラジル日本国大使公邸にて、カルロス・マグノ・カンポス・ダ・ホーシャ元 EMBRAPA 総裁への令和４年度春の叙勲伝達式が、ご家族、ご友人及び関係者の出席のもと開催された。叙勲伝達式では、セラード農業開発研究協力の成功に大き

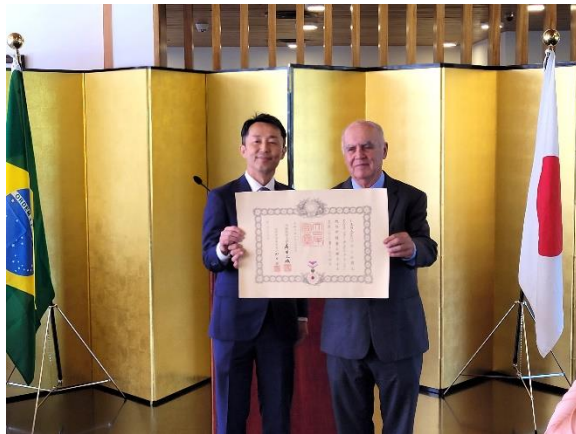
く貢献されたマグノ氏に「旭日中綬章」が伝達されるとともに、今後始まる新たな日伯農業協力プロジェクトへの期待が高まった。



林大使による祝辞



マグノ氏による挨拶



叙勲授与の様子



ご家族や関係者を交えた集合写真

4. 大使館からのお知らせ

(1) 10月11日（火）以降の日本入国時の水際措置の見直し

10月11日（火）午前0時（日本時間）以降適用される措置の概要は以下のとおりです。[この水際措置の見直し詳細について。](#)

1. 外国人の新規入国について、日本国内に所在する受入責任者による入国者健康確認システム（ERFS）における申請を求めないこととします。併せて、外国人観光客の入国について、パッケージツアーに限定する措置を解除されます。

2. 新型コロナウイルスへの感染が疑われる症状がある帰国者・入国者を除き、入国時検査を実施せず、入国後の自宅又は宿泊施設での待機、待機期間中のフォローアップ、公共交通機関不使用等を求めないこととなります。ただし、全ての帰国者・入国者について、世界保健機関（WHO）の緊急使用リストに掲載されているワクチンの接種証明書（3回）又は出国前72時間以内に受けた検査の陰性証明書のいずれかの

提出を求めることとなります。

（２）在伯公館 SNS リンク一覧

在ブラジル大使館をはじめ各総領事館及び領事事務所では、SNS にて文化イベントを含め最新情報等を随時更新しています（以下リンク先をご参照ください）。

在ブラジル大使館 : [facebook](#) [instagram](#) [YouTube](#)

在ベレン領事事務所 : [facebook](#)

在マナウス総領事館 : [facebook](#)

在レシフェ総領事館 : [facebook](#) [instagram](#)

在リオデジャネイロ総領事館 : [facebook](#) [instagram](#) [YouTube](#)

在サンパウロ総領事館 : [facebook](#) [YouTube](#)

在クリチバ総領事館 : [facebook](#) [Instagram](#) [YouTube](#)

（３）外務省 海外安全ホームページ

（ア）各国の危険情報や安全対策等海外赴任、出張及び旅行をする際の留意点を公開しています。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

（イ）世界各国の在外邦人に対して最低限必要な安全対策を周知することを目的にした「ゴルゴ 13 の中堅・中小企業向け海外安全対策マニュアル」を公開しています。2021 年 3 月、新型コロナウイルス感染症の感染症とテロといった複合的なリスクへの対処の必要性を伝えるため、番外編として「感染症流行下の安全対策」を追加する増補版を公開しています。

https://www.anzen.mofa.go.jp/anzen_info/golgo13xgaimusho.html

（ウ）各在伯公館が「在外邦人向け安全の手引き ブラジル」を作成し公開しています。

https://www.anzen.mofa.go.jp/manual/brazil_manual.html

（エ）各公館で四半期毎に「海外安全対策情報」を公開しています。在伯大使館の情報（令和 4 年度第 1 四半期）は以下のリンク先から。

https://www.br.emb-japan.go.jp/itpr_ja/kaigai_anzen_taisaku.html

（４）ブラジル渡航情報

（ア）危険情報

最新更新日：2022 年 4 月 5 日

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionspothazardinfo_259.html

以下の地域が「レベル 1：十分注意してください。」となっています。

・ブラジリア連邦区

- ・サンパウロ州大サンパウロ圏及びカンピーナス市
- ・リオデジャネイロ州大リオ圏
- ・エスピリトサント州大ビトリア圏
- ・アマゾナス州大マナウス圏
- ・ロライマ州北部
- ・パラ州大ベレン圏
- ・ペルナンブーコ州大レシフェ圏
- ・バイーア州大サルバドール圏
- ・セアラ州大フォルタレーザ圏
- ・パラナ州大クリチバ圏
- ・リオ・グランデ・ド・スル州ポルトアレグレ市

(イ) 安全対策基礎データ

最新更新日：2022 年 8 月 1 日

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_259.html

主要各州、都市毎の犯罪発生状況、防犯対策及び滞在時の留意事項等に加え、査証、出入国審査及び新型コロナウイルス関連情報や大使館、総領事館の緊急連絡先を公開しています。

(ウ) テロ・誘拐情勢

最新更新日：2022 年 8 月 2 日

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_259.html